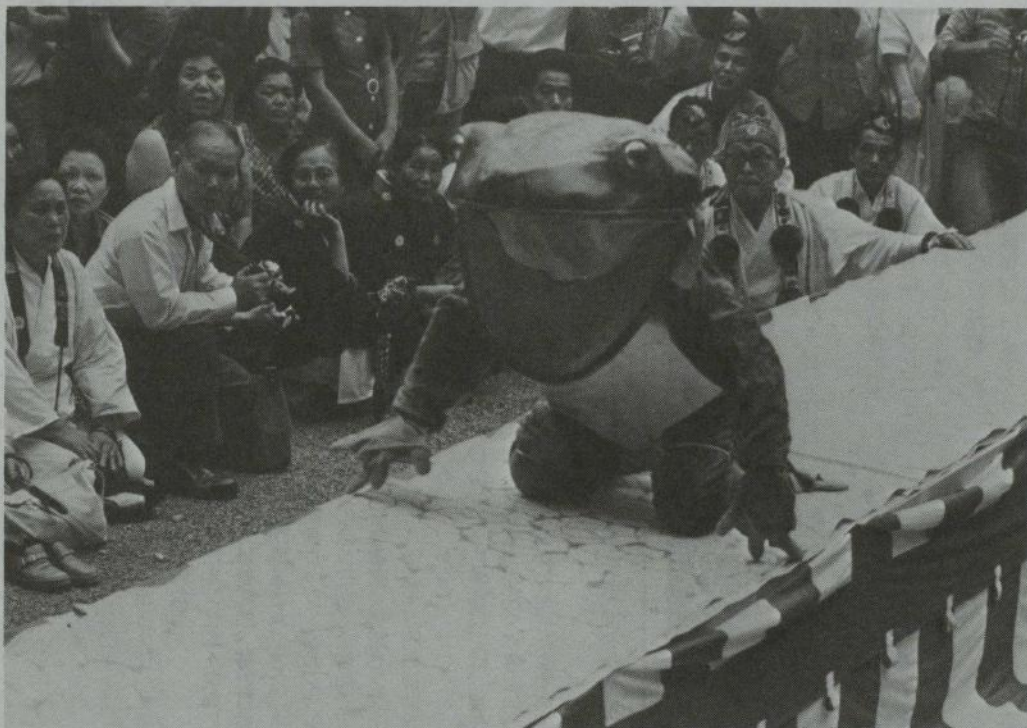


No. 270

# 全仏

7 / 56



## 盆にそなえて

七月ともなると、各寺、盂蘭盆にそなえ、境内の清掃が多忙になる。ある寺では、境内に数十本の樹木が繁茂して、近々の人々に涼を与え、憩いの場となっている。

二十年程前、これらの樹木は蚊などの発生源であるとして、役所へ伐採の陳情がなされ、やむを得ず半分程切り除かれたという。

ところがしばらくして、種々の公害が世上の話題となり、緑樹の重要性が叫ばれるようになった。役所による調査が行われ、その結果、これらの樹木は「みどりの保護条例」に基いて、保護されることになったのである。

たとえ所有者でも、勝手に伐採できなくなった今、黙々と境内を掃いている和尚さんにとって、木々の手入れは頭痛の種である。

## 吉野の蛙跳び

(金峰山寺)

—解説は12面にあります—

全日本仏教会

# ルンビニー復興日本仏教徒委員会(仮称)

## 本格的実動への第一歩

去る五月二十六日の全仏理事会で、第四号議案として提出された「ルンビニー復興問題推進について承認を求めめる件」が承認され、今までの問題のために設立されていたルンビニー復興準備委員会を、本格的実動の第一歩として「ルンビニー復興日本仏教徒委員会」(仮称)へと発展させることが、決定された。

一九七八年開催された、第十二回世界仏教徒会議日本大会の宣言文に「われらは、シャカムニ仏の生誕地ルンビニーの完全なる復元を主張するものである」とうたわれて以来、ルンビニー復興は現代を生きる仏教徒として、ぜひ実現させなければならぬ課題として、全仏事務局でその取り扱いが、検討されてきた。そこで、これまでの経過を簡単にふり返ってみよう。

昭和五十五年五月十六日、第一回のルンビニー復興準備委員会を開催。準備委員には、東京近隣の常務理事、及び国際専門委員を全仏より依頼。翌五十六年一月十四日、二回目の委員会を開き、日本仏教徒としての対応を検討する。  
同二月十三日、加藤海晃前総務局長を全仏特使として、視察のためルンビニー

へ派遣。現地にて秦会長と合流し、ネパール国首相、外相など政府関係者と懇談する。三月九日開かれた、第三回準備委員会で、加藤特使から詳細なる報告がなされた。またこの日、準備委員の中から十人の企画委員が選出された。

四月四日、第一回ルンビニー復興企画委員会開催。五月二日には、ルンビニー開発委員長ロック・ダルシャン氏とシュレシタ在日ネパール大使が、全仏の事務局を訪れ、現地事情を説明。同二十一日、新年度第一回の準備委員会が開か

れ、企画委員会の報告及び、理事会へ備えて最終討議を行なう。

以上のようにルンビニー復興に関し、これまで協力目標範囲、募財目標額、勸募方法などが協議されてきた。ネパール国開発委員長ロック・ダルシャン氏は、本年二月の全仏にあてた書簡で、中央運河、橋、聖なる園、冥想センター、給水塔に、計十八億五千万円の援助を要望している。

しかし、全仏事務局では、現在、聖なる園に対して力を注ぐべきという方針であり、なお一層の検討をすすめて行く意向である。

今回の理事会で、開発推進についての

承認は得られたが、今後、どう組織を作り、具体的にどのような方法で勸募を行っていくか、大きな課題が残されたままである。事務局としては、これから詳細な計画を立てていく予定だが、各宗派、都道府県仏、加盟団体、檀信徒の方々に、多大な御協力をお願いして行く方針である。

### 組織専門委員会開く

昭和五十六年度第一回の組織専門委員会は、六月十五日、全仏会議室で開かれた。①第二十八回全日本仏教徒会議の大いなる準備委員人選について協議。②五十六年度から、鳥取県仏が新しく加盟したことが報告され、未加盟及び休会中の県仏に対する対応が協議された。③同和問題について同和委員会の報告があった。

## ルンビニー視察団

11月9日～15日 一般から参加募集

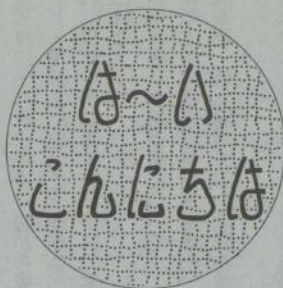
全日本仏教会(齋藤正浩理事長)で一人でも多くの関係者に、ルンビニーの事情を知ってもらおうと、今秋、現地視察団を派遣することになり、参加者を左記の要領で募集しています。

期 日 昭和五十六年十一月九日  
～十五日(七日間)

訪問地 バンコク、カトマンズ、  
バイラワ、ルンビニー  
参加費 三十九万五千円  
募集人員 五〇人  
旅行社 日本旅行渋谷営業所  
視察団は、最初タイの首都バンコクで二泊した後、カトマンズを経て、ル

ンビニーへ入る。ここでは、ネパール政府代表者との会見なども予定されています。  
この機会に、一人でも多くの方が、釈尊誕生の地ルンビニーを訪れ、現地を実際の目で見ていただくよう、おすすめていたします。  
なお、問い合わせ・申し込みは、全仏事務局もしくは、日本旅行渋谷営業所(東京都渋谷区渋谷二二二一七・新生ビル、〇三三四〇七一五二二一)大津まで。

# 財団法人 三康文化研究所



—④—

今回の「はいこんにちは」は、全仏事務総局のすぐお隣り、財団法人・三康文化研究所をお訪ねした。  
全仏はこの五月、現在の明照会館に引っ越してきたわけだが、その同じ二階に事務局と研究室をかまえる三康文化研究所。一階は、付属の三康図書館となっている。

## 昭和三十九年に設立

このよつに公立でもなく、大学などにも直接関係ない研究所というのは、なかなかユニークだ。さっそく事務局長の野川健次郎氏にお話をうかがってみた。

「この研究所は、昭和三十九年、増上寺と西武鉄道の協力で設立されたものです。精神的荒廃と道徳的欠如に満

ちた現代社会を、少しでも是正するために、仏教の役割りが大きく期待されています。

そこで、仏教文化の歴史的・地域的研究を推進し、秀れた若手の研究者を育成することが、この研究所の目的と



財団法人・三康文化研究所

いえましよう」

現在、研究所長は、増上寺法主の藤井実応師。研究指導員に、増谷文雄、中村元の両博士が、また常在研究員には、石上善広（大正大教授）、峰島旭雄（早大教授）、小野泰博（図書館短大教授）、玉山成元（大正大教授）、佐藤成

順（大正大講師）の各氏が名を連ねている。

## 宗教哲学や仏典研究

ここで、研究所の本来の目的である研究活動をみると――

現在、研究会には、原典研究会、東洋文化史研究会、宗教哲学研究会、比較思想史研究会、宗教学研究会、仏教史学研究会、日本史学研究会、中国仏教思想研究会、中国思想研究会、仏教思想研究会、総合研究会がある。

これらの研究会は、常在研究員が、それぞれ担当をきめ、自己の専門とする研究の進展拡充や、研究業績の公開などを図るため、定期的に行われている。

それらの研究成果は、「年報」及び「所



図書館の書庫の一部

報」に発表されているが、特にすでに十一号を数えた「年報」は、各大学や図書館に寄贈され、学界などから高い評価を得ているという。

その他、関係諸学会から講師を招いて、研究員全員の参加で開催される研究座談会や、仏教文化を広く一般に普及させるため、春秋二回開催される公開講演会と、幅広い活動が続けられている。

## 付属施設に図書館

さらに、付属施設の三康図書館も、もともと私立図書館として発足したユニークな存在。

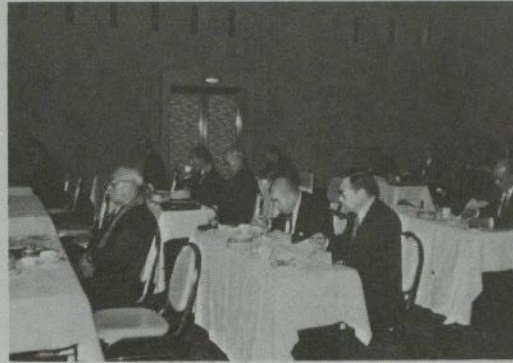
この図書館、明治三十五年、博文館主だった大橋新太郎によって建設された大橋図書館が、その前身である。その後、蔵書の一部を西武会長だった堤康次郎が譲り受け、昭和三十二年、財団法人・三康図書館と改名、研究所設立に伴い、合併して今日にいたったものだ。

現在のこの図書館には、明治・大正・昭和の三代にわたる約二十万冊の図書があり、文学、和歌、俳句、地誌、美術などの他、研究所の初代所長であった椎尾弁匡博士の仏教関係蔵書、約八千冊があり、研究者にとって貴重な文献となっている。

全仏事務総局へいらした際、ぜひ一度、寄って下さい。

# 全仏の理事会

……議案、報告事  
……項などを承認  
……



去る五月二十六日、午後一時から東京  
グランド・ホテルにおいて、理事会が開  
催され、決算、事業報告等について審議  
がなされた。

◎議事録署名委員選出について  
久保登太清、四宮正音両師を選出。  
◎議案第一号「局内人事の承認を求め  
る件」

五月二十二日付をもって、事務総局部  
長の交替を承認。  
◎議案第二号「昭和五十五年度事業報  
告の承認を求める件」  
原案通り承認。

◎議案第三号「昭和五十五年度歳入歳

出決算の承認を求める件」

財務部長より報告、監事より監査報告  
の後、原案通り承認。

◎議案第四号「ルンビニー復興問題推  
進について承認を求める件」

ルンビニー復興日本仏教徒委員会（仮  
称）を設置すること、及び、ルンビニー  
視察団を今秋派遣すること、の二点を承  
認。

◎議案第五号「機構改革特別委員会答  
申に伴つ、寄付行為改正の承認を求める  
件」

①寄付行為の条文改正については原案

通り承認。  
②会長、副会長の推戴方法については  
評議員会にて検討し、再度理事会にはか  
る。

③理事長、理事の選出方法及び事務総  
局については、機構改革特別委員会にお  
いて更に検討する。

④寄付行為第二十五条、二十六条につ  
いては答申通り承認。

◎議案第六号「刊行誌『全仏』第三種  
認可に関する指導に伴つ関連事務規定新  
設の承認を求める件」  
原案通り承認。

◎議案第七号「事務所移転に伴う寄付  
行為一部変更の件」  
原案通り承認。

◎報告事項

①同和委員会報告について  
同和特別委員会の「特別」の字句を削  
除すること、及び委員長、副委員長を選  
出したことを報告。

②第二十八回全日本仏教徒会議につい  
て  
今秋十月二十七日、川崎大師にて開催  
することを報告。

③事務所移転の経過報告について  
去る四月末、明照会館に移転したこと  
を報告。

④カンボジア難民の救援金伝達につい  
て  
五月初旬、鎌田部長がタイで、難民キ  
ャンプを視察、四万ドル寄付したことを  
報告。

【写真は全仏理事会】

## 第14回 日本仏教文化会議

### 8月28日～29日開催

第十四回「日本仏教会議」は、左記  
の通り開催されることがましまし  
た。

テーマ 「仏教と科学」  
——心とは何か——

期 日 8月28日～29日  
会 場 生産性研修会館（函南町）  
主 催 財・全日本仏教会

①仏教における物心一如観  
②精神活動のメカニズム

財・国際仏教交流センター  
これまでこの会議では、「生命科学と  
仏教」、「仏教徒は現代に何をなすべき  
か」などをテーマにシンポジウムがも  
たれ、多大な成果をあげてきました。  
今回は「仏教と科学——心とは何か」  
というテーマのもと、自然科学者によ  
る「精神活動のメカニズム」、仏教学者  
による「仏教における物心一如観」と  
いう二つの基調講演が予定され、現在、  
マスコミや学界など各方面で広く関心  
的になっている、人間の心について、  
討議がなされます。

# 暑中御見舞い申し上げます

## 曹洞宗宗務庁

管 長 秦 慧 玉  
宗務総長 岡田 巳 成  
参 議 谷 北 俊 龍  
メ 梅 田 信 隆  
教学部長 田 中 亮 三  
総務部長 阿 部 博 邦  
財政部長 大 竹 明 彦  
人事部長 蔵 山 光 堂  
伝道部長 三 宅 心 戒  
教化部長 朝 日 泰 峯  
出版部長 小 川 義 道  
東京都港区芝二一五一二  
〒105 〇三(四五四)五四二一

## 浄土真宗本願寺派

門 主 大 谷 光 真  
総 長 豊 原 大 潤  
総 務 朝 枝 実 彬  
同 渡 辺 静 波  
同 荻 諦 忍  
同 松 村 了 昌  
同 広 田 豊 柳  
京都市下京区堀川通花屋町下ル  
本願寺門前町  
〒600 〇七五(三七)五一八一

## 浄土宗宗務庁

浄土門主 高 畠 寛 我  
宗務総長 武 田 脩 彦  
総務局長 小 口 輝 雄  
教学局長 大 田 秀 三  
善導大師遠忌  
兼法然上人降誕  
慶讃事務局長  
財務局長 前 田 秀 導  
社会局長 竹 田 英 宣  
東京事務所長 鈴 木 靈 孝  
総長公室長 村 井 敏 雄  
職員一同  
宗 務 庁  
京都市東山区林下町四〇〇  
〒605 〇七五(五二五)二二〇〇  
東京事務所  
東京都港区芝公園四一七一四  
〒105 〇三(四三三)三三五一

## 聖観音宗 金龍山浅草寺

宗務総長 大 森 亮 雅

東京都台東区浅草二一三一  
〒111 〇三(八四二)〇一八一

## 和 宗

総本山 四天王寺

大阪市天王寺区四天王寺一  
一八一八  
〒543 〇六(七七)〇〇六六

# 暑中御見舞い申し上げます

## 日蓮宗宗務院

管長	金子日威
宗務総長	塩田義朗
宗務副総長	金山寛成
総務副総長	加藤海晃
総務企画部長	加藤海晃
庶務部長	渋谷直城
財務部長	石井隆教
教務部長	巽寿円
護法伝道部長	米田淳雄
遠忌事務局長	持田貫宣
現代宗教研究所長	中野文海

東京都大田区池上一三三二一五  
〒146 〇三(七五)七二八一

## 真言宗智山派宗務庁 総本山智積院法務所

管主	上野頼栄
宗務総長	小沢照禧
宗務寺務長	堀井隆俊
総務部長	堀井隆俊
教学部長	高野一能
教化部長	吉野快弘
法務部長	佐藤良盛
財務部長	山内隆敞
出張所長 別院執事	小峰一允

京都市東山区七条東瓦町九六四  
〒605 〇七五(五四)五三六一

## 真言宗国分寺派 大本山国分寺

管主	西口公教
宗務総長	足立有教
秘書室長	合田和教

大阪府大淀区国分寺一の六の十八  
〒531 〇六(三五)五六三七代

## 高野山 真言宗 総本山金剛峯寺

管主	森寛紹
執行宗務総長	阿部野竜正

和歌山県伊都郡高野町高野山  
〒640-02 〇七三(六五)二〇一一

## 臨済宗建長寺派

管主	中川貫道
宗務総長	本場大龍

鎌倉市山ノ内八  
〒247 〇四六七(三二)〇九八一

# 暑中御見舞い申し上げます

## 真言宗豊山派宗務所

管 長 築山定誉  
 宗務総長 久保埜 太清  
 総務部長 高山宥進  
 教化部長 吉田俊誉  
 財務部長 鳥居慎誉  
 教務部長 鴨志田 秀純  
 弘法大師千五百年  
 御遠忌記念事業委員会  
 事務局長 飯塚正雄  
 東京都文京区大塚五の四〇の八  
 〒112 〇三(九四五)〇六三九

## 真言宗東寺派宗務所

管 長 草野栄龍  
 宗務長 吉川律城  
 教学部長 大野大雅  
 財務部長 真田快尊  
 庶務部長 北川亮暁  
 宗議会議長 片岡実雄  
 〃 副議長 岡田教果  
 予算委員長 勝田卓禅  
 決算委員長 峯 孝雅  
 教学委員長 峯 孝雅  
 広報委員長 藤井良晃  
 審議会会長 井上信祐  
 京都市右京区西京極葛野町四  
 〒615 〇七五(三二二)二〇一七

## 孝道教団

統 理 岡野正貫  
 副統理 岡野鄰子  
 横浜市神奈川区鳥越三八  
 〒221 〇四五(四三二)二〇一

## 真言宗善通寺派 総本山善通寺

法管 主長 蓮生善隆  
 宗務総長 阿部本宣  
 執行長 阿部本宣  
 総 務 山地善真  
 香川県善通寺市善通寺町六一五  
 〒765 〇八七(七六)二〇一一

## 妙見宗宗務本庁

管 長 野間秀泉  
 宗務総長 平田忠義  
 大阪府豊能郡能勢町野間中七一八  
 〒563-01 〇七七(三七)〇〇二八

## 念法真教教団 総本山金剛寺

灯 主 小倉 靈現  
 大阪市鶴見区緑三一四―二二二  
 〒538 〇六(九一一)二二〇一

# 暑中御見舞い申し上げます

## 神奈川県仏教会

会長 貝山宣泰  
副会長 柴田敏夫  
小崎竜雄  
塚田弘導  
横山敏明  
横浜市中央区太平町九六  
西有寺内  
〒232 〇四五(六六一)〇二六六

## 愛媛県仏教会

会長 千 顥英  
副会長 大森真城  
同 安井栢宗  
事務局 小野田章神  
白石大峯  
越智憲英  
海頭広文  
松山市木屋町二一―三  
円福寺内  
〒790 〇八九九(三三)〇八〇一

## 京都府 京都市 仏教会

会長 立部端祐  
副会長 横井鶴洲  
葉上照澄  
理事長 小林忍戒  
事務局長 宮城泰年  
京都市左京区聖護院中町一五  
聖護院内  
〒606 〇七五(七五一)六九八八  
東京都仏教連合会  
会長 小峰順誉  
理事長 岩崎宗秀  
常務理事 一同  
監事 一同  
事務局長 畑直孝  
東京都小平市上水南町五一―  
大仙寺内  
〒187 〇四三(三二)〇七五五

## 財団法人 埼玉県佛教会

会長 岩崎鳳栄  
副会長 山本道隆  
江連俊則  
常務理事 河野亮永  
浦和市高砂四―十三―十八  
埼玉会館  
〒336 〇四八(八六一)二二三八  
愛知県仏教会  
会長 木村正範  
副会長 宇佐美諦練  
同 瀬辺淳信  
同 松林法泉  
名古屋市東区東桜二一―六―五一  
梅屋寺内  
〒461 〇五二(九三二)八一二四

# 暑中御見舞い申し上げます

財団法人

## 仏教伝道協会

会長 沼田 恵 範  
 理事長 宮本 正 尊  
 理事 中村 元  
 雲 藤 義 道  
 松 原 泰 道  
 芝 原 郷 音  
 高 辻 恵 雄  
 沼 田 恵 範  
 監 事 芝 田 徹 男  
 坂 東 環 城  
 三 原 信 一  
 東京都港区芝四の三の十四  
 〒108 〇三(四五五)五八五一

## 真 理 舎

主 管 友 松 諦 道  
 真理運動本部は九月一日より、  
 真理舎と改名し、一層積尊の御  
 教えを生かした真理の精神を、  
 実践していきます。

千代田区外神田三―四―一〇  
 神田寺内  
 〇三(二五二)八六八三・八八四二

## 茨城県仏教会

会 長 大 越 孝 仁  
 顧問・副会長  
 事務局長・理事 一同  
 評議員  
 茨城県多賀郡十五町友部一九九〇  
 〒319-13 〇二九三(三三二)二〇五一

社団法人

## 全日本仏教婦人連盟

理事長 山 本 杉  
 副理事長 山 口 貴美子  
 事務局長  
 副理事長 木 全 か づ  
 事務局  
 東京都豊島区北大塚二―一―一  
 大塚プラザビル七F  
 〒170 〇三(九一〇)二二八九

## 財団法人 仏教振興財団

月刊誌 「心の糧」  
 理事長 竹村 吉右衛門  
 事務局長 長 瀬 貫 公  
 主 事 本 間 皓 司  
 編集担当 植 松 威  
 事 務 所  
 東京都台東区浅草二―三―一  
 浅草寺内  
 編 集 室  
 東京都台東区元浅草四―六―四  
 善慶寺内  
 〒111 〇三(八四二)七〇三七

真言宗中山寺派

## 大 本 山 中 山 寺

宝塚市中山寺二の十一の一  
 〒665 〇七七七(八〇六)五二七

## 近代仏教研究会

理事長 壬 生 照 順  
 事務局長 小 室 裕 充  
 東京都台東区元浅草一―七―二  
 華蔵院内  
 〒111 〇三(八四四)三三六四八

## 真言宗醍醐派

座 主 岡 田 宥 秀  
 京都市伏見区醍醐東大路町二二  
 〒601-0755(五七二)〇〇〇二一



= ⑪ =

先述の三大寺院見学の際、出逢った  
ラマ僧たちは、多くて十人程度であつ  
た。ドレボン寺は、世界最大級の僧院  
で、ダライ・ラマ亡命当時、一万人の

現在これら寺院に残存する老僧らは、  
結局のところ、建造物の管理に当って  
いるのである。  
最近、ネパール在住のラマ僧たちは  
特別に帰還を許可されたといわれる。  
旧市のジョーカーン寺近辺の宿舎に、食  
糧寝具一切を運搬させ、到着したばか  
りのラマ僧二名を、群衆が歓迎してい  
るところを見た。しかし、宗教の自由  
化はラサを含むごく小数の地域に限ら  
れ、チベット全土に及ぶものではない。

# チベット仏教の現状

(中)

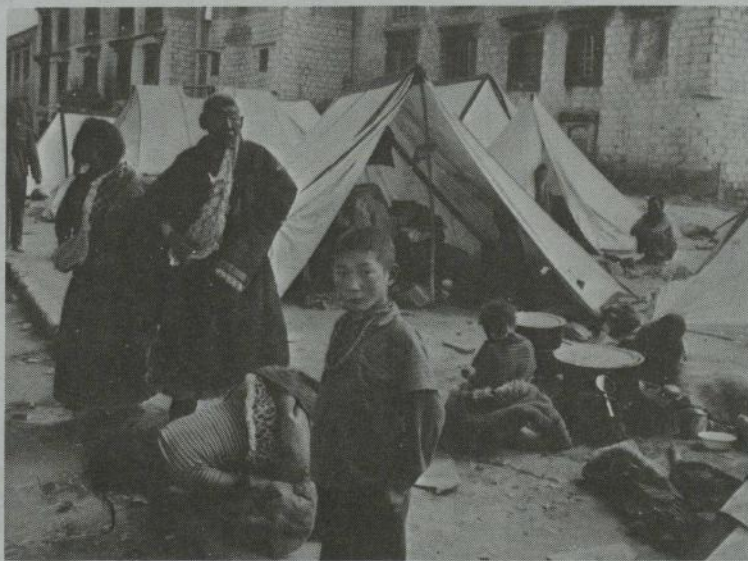
市村 承 秉

ラマ僧を数えたというが、現在では三  
百人に極減していると、旅行案内に記  
録されている。しかし、三百人の僧た  
ちが宗教活動に従事しているという気  
配は、ほとんど感じられなかった。  
セーラ寺はラサの東方、自動車で二  
十分、南面する岩肌の丘陵に沿って建  
造されていた。ドレボンはラサ郊外五  
キロ西方、同様な地形上に段々の層を  
なして構築され、白色の壁、えび茶色  
と金色の装飾は各寺院とも共通で、真  
青な空を背景に、実に印象的である。

ボタラ宮殿では、一目で地方出身と  
わかる団体参拝者たちと出逢わせた。  
毎週、拝観日を定めて公開されている  
という。二、三十人一組となって、迷  
路のようにいり組んだ各階を引率され  
ていた。旧市内のジョーカーン寺の周囲  
二、三百メートルは、市場として昔か  
ら栄えて来たが、巡礼者たちは土まみ  
れになって路上に礼拝しつつ、雑沓す  
る中を右繞するのである。早朝四時  
は、当日の参拝入場許可を得るべく、  
長蛇の列を作るという。

彼らの多くは、路上のテントで過す  
のであるが、目と鼻の先にある社会主  
義新体制を象徴するかのよつな市民病  
院と比較して、真実、奇妙な対象を構  
成するものであった。このような宗教

さしつかえない。  
ジョーカーン寺参観の折、近隣にある  
一市民の家を訪ねてみた。土壁、石塊  
煉瓦などで構築された家屋内は極めて  
薄暗く、部屋の奥、正面には毛沢東の  
肖像写真が据えられ  
てあった。案内して  
くれた若者がそれを  
取り除くと、その裏  
に仏壇の小扉があ  
り、開くと仏像数体  
と、密教儀軌に必要  
な真鍮製の金剛杵や  
振鈴が見い出され  
た。



現象は、二、三年前には見られなかつ  
たことだという。ジョーカーン寺近辺は、  
現今チベットの宗教事情を、端的に縮  
図として示現しているものと考えて、

一人の老母が十数  
年前、インドのダラ  
ムサラ(ダライ・ラ  
マの在所)に向け出  
奔したという息子の  
ため、写真を撮って  
送ってくれという。  
息子の写真を見せて  
もらったが、ネクタイ  
の若者である。垢と  
埃に滲んだ衣服を身  
にまといラサの市民  
たちが、国際的な生活水準に到達でき  
るのは何年先のことであろう、思わず  
暗たんたる気持ちにならざるを得なかつ  
た。

### 同和委員会委員長に

### 橘了法師 56年度初会台

昭和五十六年度、第一回の同和委員会が、去る五月二十一日、全仏会議室で開かれた。

まず議題に先立って、これまでの「同和特別委員会」という名称から「特別」を削除してはどうかという提案が事務総局より出され、承認された。

#### ①委員長、副委員長の選出

委員長に橘了法師(真宗大谷派)、副委員長には、三宮義信(浄土真宗本願寺派)・近藤玄鶴(臨済宗妙心寺派)の両師が選出された。任期は、五十七年三月まで。

#### ②第二回確認糾弾会の報告

五月二十日に行われた糾弾会の報告がなされ、特にこの場で公表された、差別戒名(墓石)、差別図書、差別事例に問題がしほられ、全仏より各宗派に調査を依頼し、実態をつかむべきだとこの決定をみた。

#### ③「同和問題にとりくむ全国宗教者結集集会」の報告

三月十七日の集会について報告がなされ、今後の方針等について協議された。なお、この日の出席者は左記の各師。  
近藤玄鶴、小峰一充、橘了法、朽木明暁、久保井恭彦、鈴木道雄、三宮義信、北小路瑞浩、藤田慈善、北川智城、丸山日雄、石田祐寛、高橋誠実、山北光彦、

大月俊信。

### 全日仏青理事会開く

去る五月二十七日、全日本仏教青年会の、昭和五十六年度定期理事会が増上寺会館において開かれ、事業報告、決算等を承認した後、新しい役員に次の各師を選出した。

理事長・正本乗光、副理事長・小林正道、玉川寛祥、白川元昭、上杉泰顕、佐藤泰博、事務局長・田中光成。

また、これまで活動していたカンボジア難民救済プロジェクト会議は、難民救援委員会と改称し、委員長に玉川寛祥師を選んだ。

# 同和推進のために

④

同和委員会委員長 橘 了法

「もう論議の時ではない、教団みずからの起死回生の必須な課題であるとの認識と体感、といったことについてきびしい上段のかまえ、妥協の上になぞ法はあり得る」と。

かつてある文士が「人生は妥協である」といって「だら幹」の名が出たように、世上の論理のままを仏法と称する中に、転化させて微塵あらしまな

「社会は模倣だ」といった社会学の始祖がいる。人間の生そのままにとらえれば、その通りである。長大をもつて善とする世間知においては、いつも他に比べてとんぐりの背比べの思想

で、この世に生きる証をたてている。これがこうじると「隣りの貧乏、鴨の味」という酷烈さとなる。

ここまできるともつ人間の人間らしさからの限界であること、あえて仏法をまたず、ヒューマンニズムの領域でいわれるところ。仏法はヒューマンニズム以下のところにあつてよいのか。

明治仏教の代表者、清沢満之の「自利利他すべき同朋間の同情を、大要義とする」ところに仏法がある。

この場合、ここに「同情」といわれるものは、人間の人間による「同情」でも「融和」でもないことを、はっきりさせるところに、仏法のいう「独立者」が誕生する。

## 宗教界には最もゆかりの深い菩提樹と蓮の花を育ててみませんか!!

成道ゆかりの樹……菩提樹(印度ブッタガヤ産直輸入品) 苗代¥10,000(鉢付)

極楽浄土の華……蓮(チャワンバス通称姫蓮) 苗代¥7,000(鉢付)

上記の品二点を同時予約注文の場合 特別価格¥15,000

お申込、お問合せは下記のいずれかの所へ御一報下さい!

東京池袋 西武不動産(株)園芸営業所 ☎(03)989-2755  
〒171 東京都豊島区南池袋1の16の15(西武鉄道ビル内)

名古屋 賃梅金商店 ☎(052)241-0901(代)  
(有)かたばみ商事  
〒460 名古屋市中区大通三丁目39番33号



### 日蓮宗の御報恩大会

武道館に全国から参集

日蓮宗（金子日威管長）では、日蓮聖人の第七百遠忌を記念し、六月五日十二時より、日本武道館に全国より一万二千名の僧俗が参集し「御報恩全国大会」を奉行した。

塩田宗務総長挨拶のあと、日蓮宗独特の修法師による加持祈祷、管長大導師による御報恩法要が厳粛に営まれ、つづいて万灯供養、曲打ち題目など法華伝統芸能が披露された。最後に北は北海道から南は沖縄まで全国縦断行脚をした青年僧の完遂報告と唱題修行が行なわれ武道館にお題目の音がひびく盛儀であった。全仏より日野総長が出席。

### 東仏の新役員きまる

東京都仏教連合会では、六月一日理事會を、六月十一日には総会を、共に増上寺において開催し、左記の通り新しい役員を選出した。

- 会長 小峰順誉（再任）
- 理事長 岩崎宗秀（新任）
- 事務局長 畑直孝（再任）

### 全仏事務局の人事

- 庶務部長 馬場道男 5・22 退任
- 文化部長 山田訓康 〃 新任
- 庶務部長 磯山福正 〃 異動

### 掲示板

浄土宗  
▼去る六月十六日、総本山知恩院第八

### 表紙の写真

### 吉野の蛙跳び

（奈良県吉野郡 金峰山寺）

蓮の花を仏に献ずる法会で、縫いぐるみの大青蛙が飛び廻り、受戒して、最後に人間の姿に変わる儀礼が有名。この行事の由来は、平安時代中期までさかのぼるといふ。

金峰山に登っていた一人の男が、山中で吉野・蔵王権現の悪口をいったところ、突然、大驚が舞い降りてきて、その男をつかまえ、絶壁の上につれていってしまった。たまたまそこへ通りかかった僧侶が、哀れに思っ、法力で男を蛙の姿にかえ、崖から降ろして助けた。

蛙が最後に、縫いぐるみを取って、人間となることでクライマックスをむかえる。

本年は七月七日（火）、午後四時から行われる。

十四世・高島寛我門主陛下下の晋山報告法要と祝賀会が挙行され、全仏より小野島次長が出席した。

臨済宗妙心寺派

▼新しい宗務総長に、野口浩堂師が就任。これは四月の選挙で、後藤純一前宗務総長の後任に選ばれた、木村祖真師の急逝に伴う人事。

真言宗大覚寺派

▼浅川義雄宗務総長の退任に伴い、新宗務総長として、味岡良戒師が選出された。

島根県仏教会

▼本田行典会長の退任に伴い、新会長に勝部漸入師が選出された。

愛知県仏教会

▼県仏の事務局が、左記の所へ移転した。

名古屋市中区東校二一六―五十一 梅屋寺内 電話〇五二一九三一八二四

真理運動本部

▼団体の名称が真理舎に変更された。事務所、代表者等はこれまでと同じ。

仏教英語研究会

▼事務局が、左記の所へ移転した。

東京都新宿区西新宿三一五―三、ダイヤモンド・パレス八〇二、山田方。電話〇三―三四二―六六〇五。

京都仏教徒会議

▼事務局が、左記の所へ移転した。

京都市左京区八瀬野瀬町四八、養福寺内、電話〇七五―七二一―八五七五。

世界宗教者倫理会議

▼去る六月二十三―六日、東京で開催

され、開会式に全仏から齋藤理事長、安本国際文化局長、中村財務部長が出席。

### 事務局録事（六月）

- 五日 日蓮宗七百遠忌全国大会出席
- 八日 局内会議
- 十二日 文化会議運営委員会
- 十五日 組織専門委員会
- 十六日 浄土門主晋山祝賀会出席
- 十九日 関西事務局と打ち合わせ会
- 同日 同和委員会
- 二十二日 文化会議運営委員会
- 二十三日 ルンビニ準備委員会
- 二十四日 世界宗教者倫理会議出席
- 同日 文化庁宗務課と懇談会
- 同日 局内会議

### 寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

### 株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9（地下鉄田原町駅前）

電話 代表 (841) 4965

東京都港区芝公園四一七―四  
電話〇三―四三三七―九二七五